



初編下

白馬
若林堂來梓



北雪
時代加見
美談
新釋史

為永春水作
一壽齋國貞画

初編上

非題典立國画





北雪
美談
時代
加
貞
見
新
春
輝
史

為永春水作
一壽齋國貞画

初編上

北題曲之國画



時 代



初編上

若手梓

春水佐

國貞書



北せつびきりん 初巻人の 序



硯の池の東東へ朝寐の目ざし渡つても解け七の梅の空陶へ前夜の依ふ
北面して雪封トねど最寒いと朗詠のいれ小獨座の一與是さる春の
且めけ昨日の鬼の門禮者も黒羽二重の折目よ。三筋がそと小听ゆる
鳥道系遊さそ紙着の音白酒の声宝船夫等も春の景物とわりの
いもさんざり然ハ僕も試筆紙と若水さし掬る墨ふ。名ひ疑らる一小
冊ハ若林堂が預の懇望外題いまるら北雪美談画組時代ふ惚せたら
時代鏡と名号し巻中も聊因らる。若藤尾上後時のつくそ又未
歳の初賣紙今も急々初仕入是ぞ書房の店先へ吹込む春風作者
拙らるるも一時の新案遣羽子よりもいづとく當つて落ぬの批判婦知
稚兒達小願えと手鞠拍子小序文くら先祝儀紙か記し。

嘉永八拾卯の春葦市

庚四 爲永春水述焉

時代



湯尾刀監
同苗安及太郎
敦連
岩藤の
亡霊

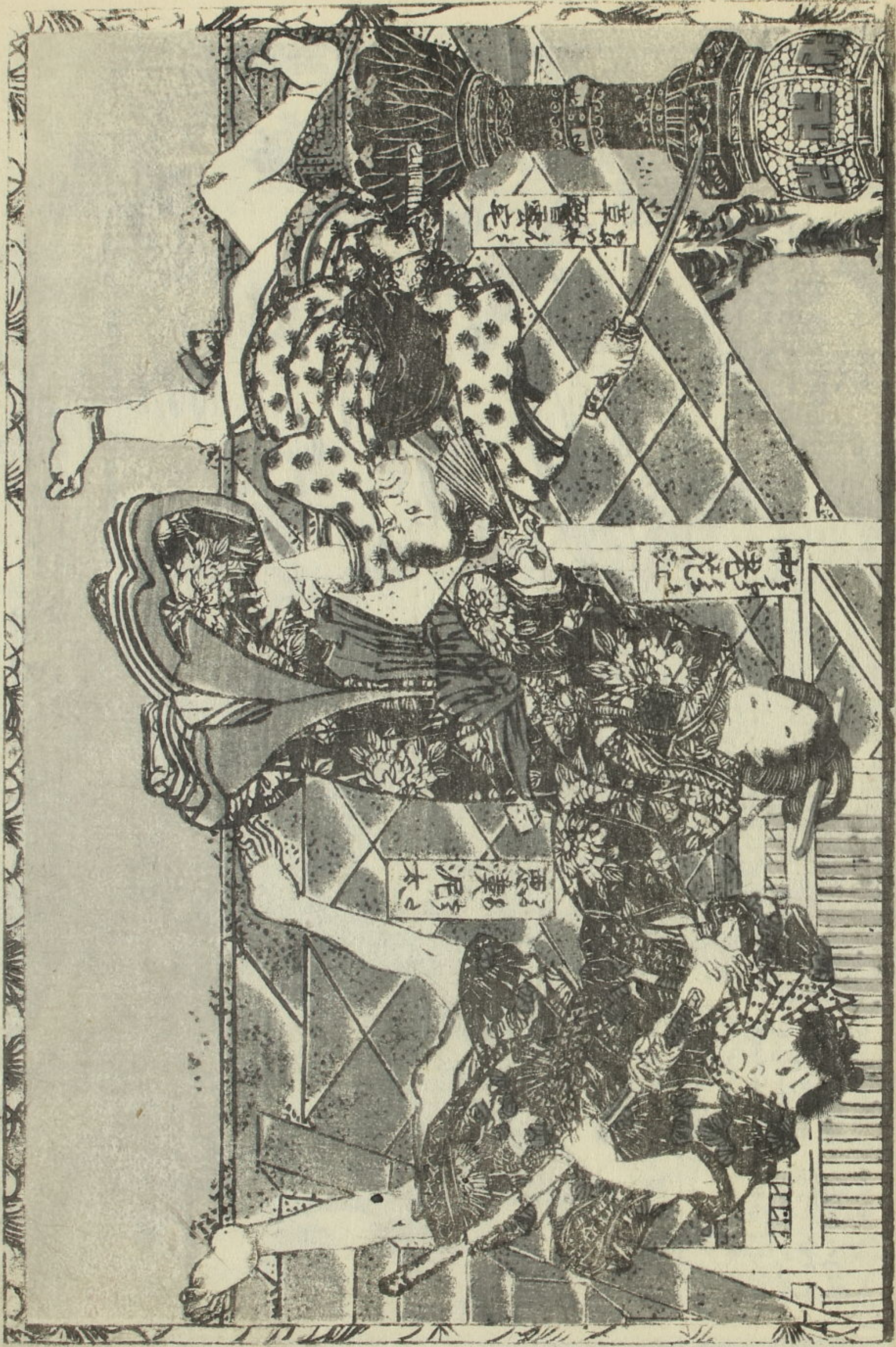
初浦
尾上之助
忠次



當家
の族

多賀
大領
正方

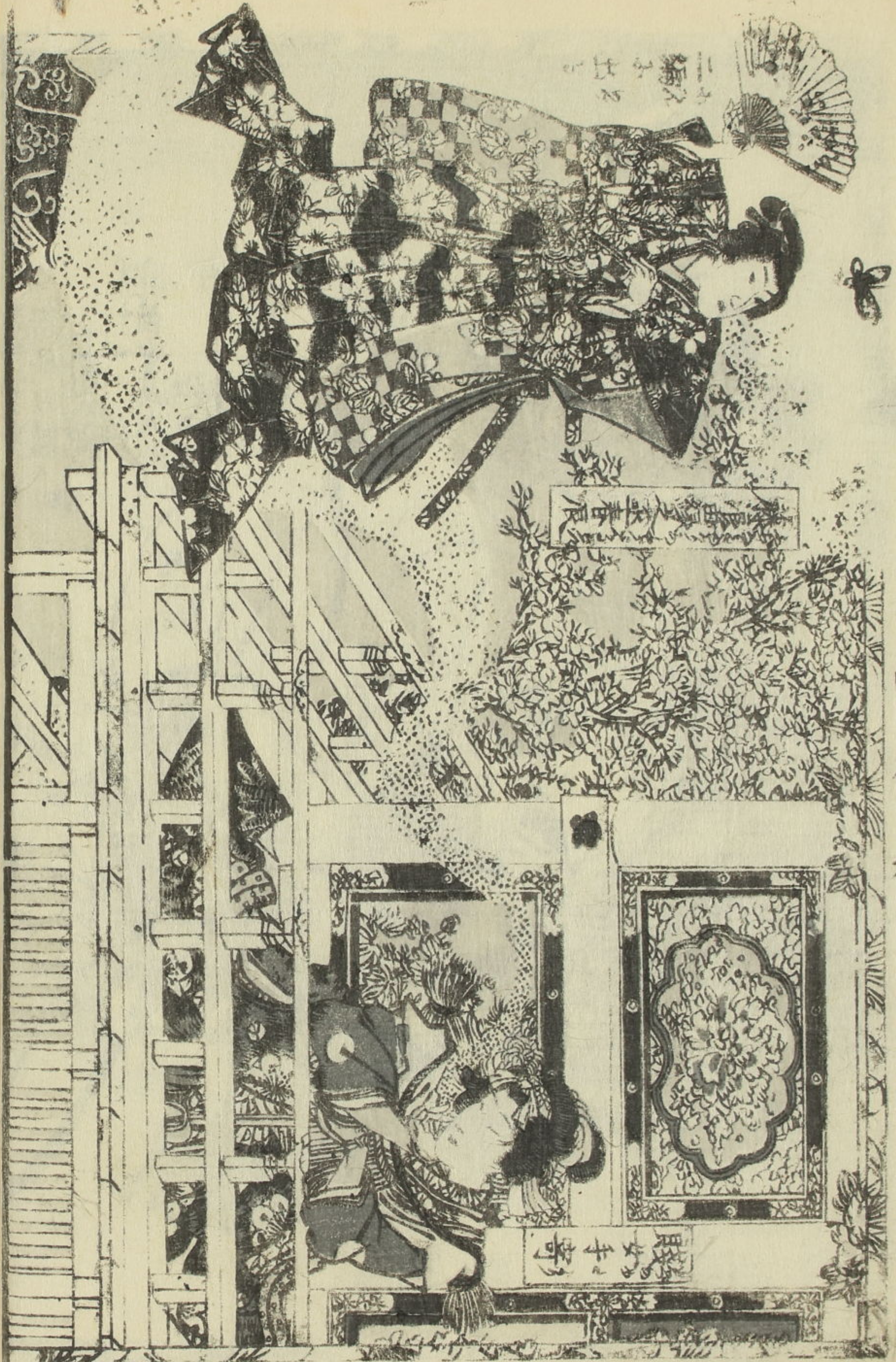
甲
代
初



五七喜要記

中老花江

悪妻泥女



悪妻泥女

眼如手寄

悪妻泥女



時
代
初



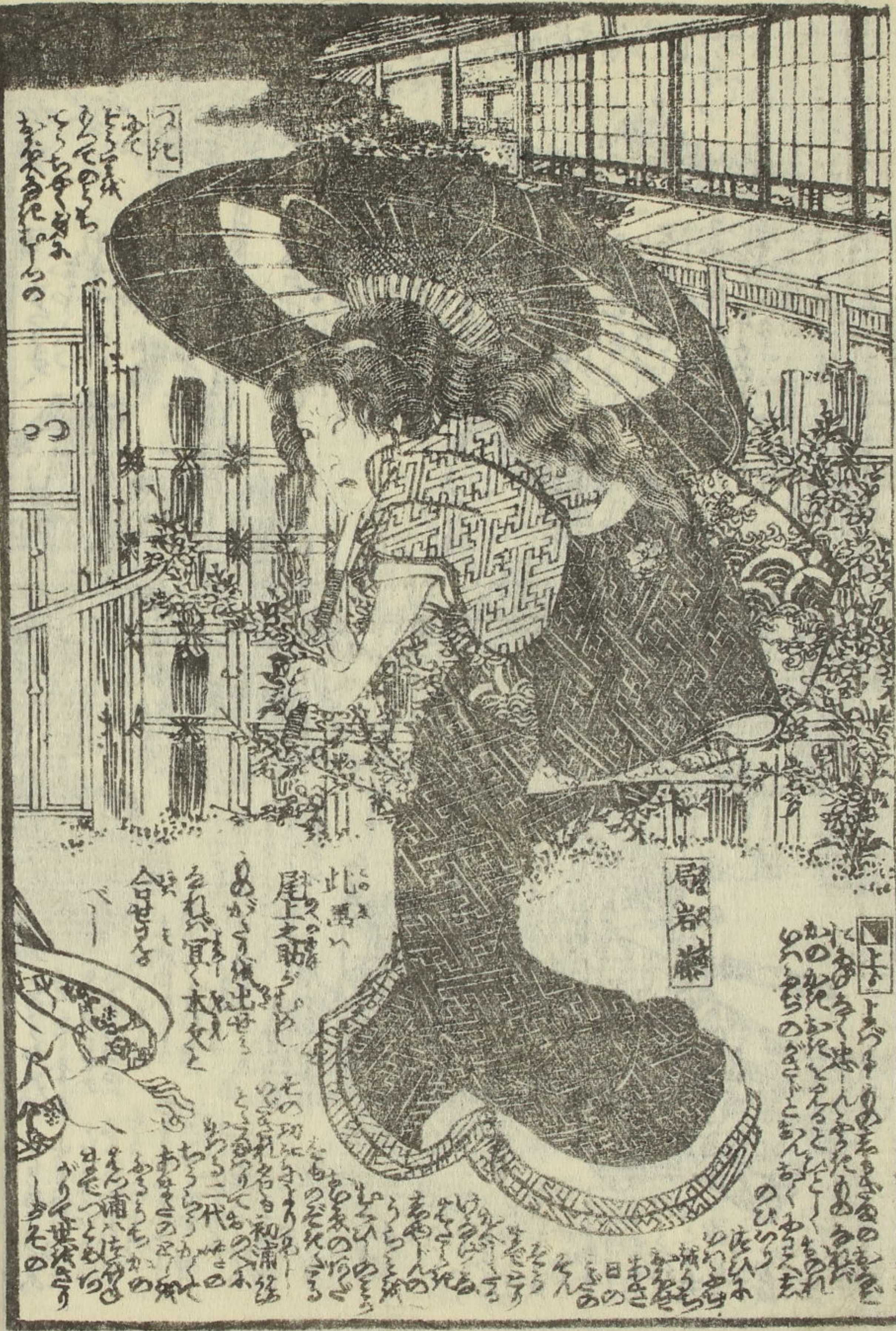
時
代
初



五

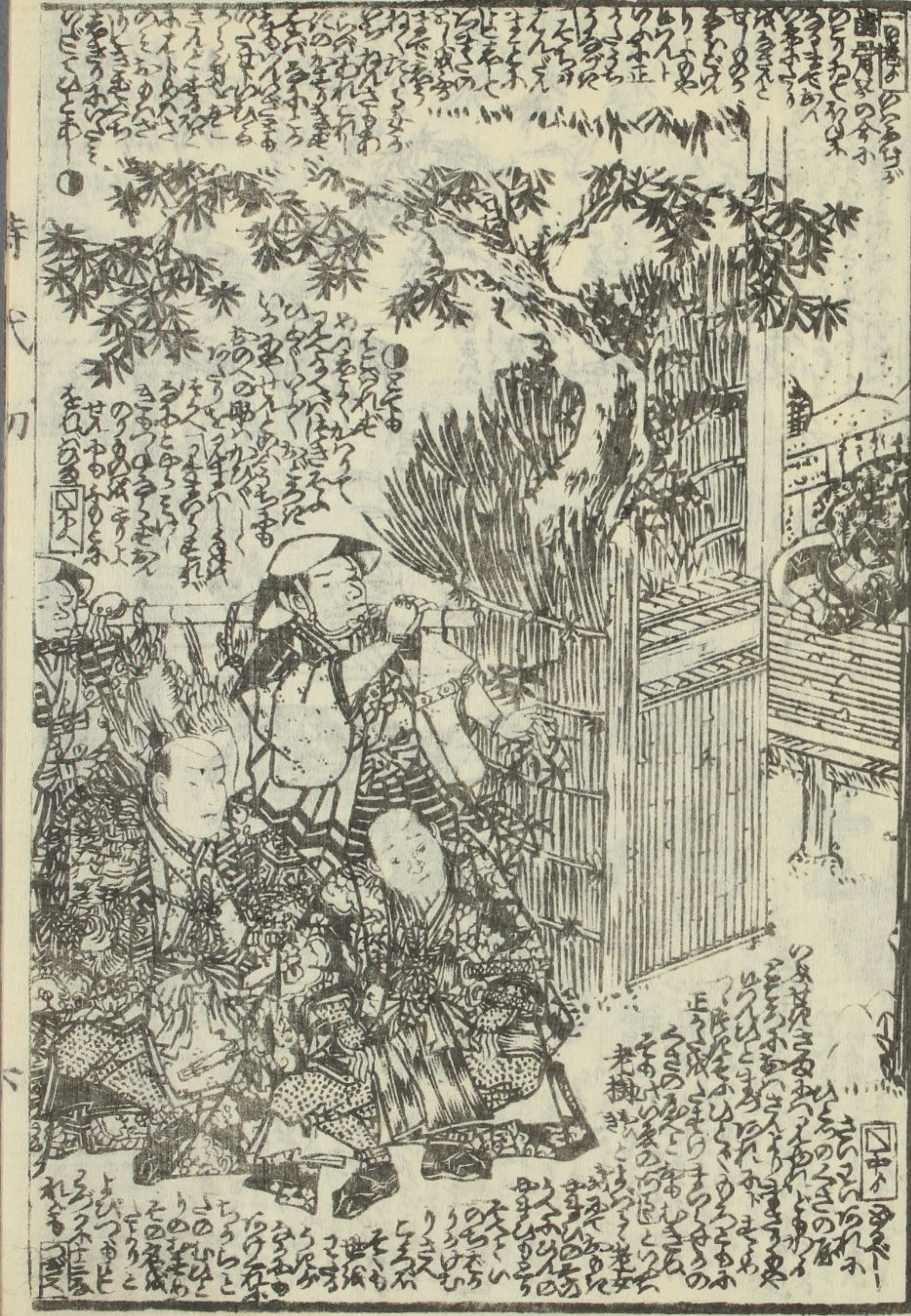
此の... 初...

初名...



此の... 上...

上...



鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる



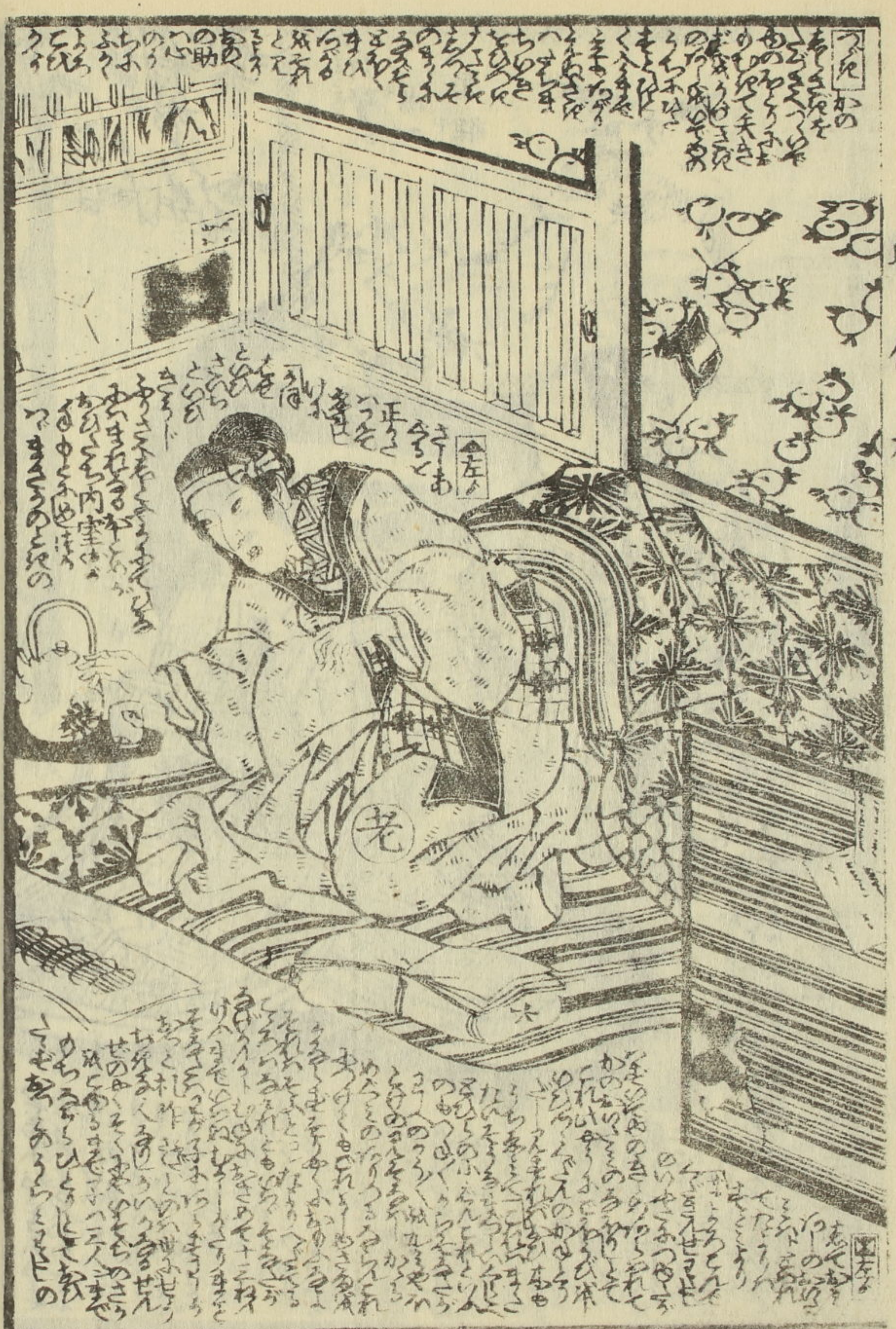
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる
鳥の鳴き声は
春の訪れを告げる



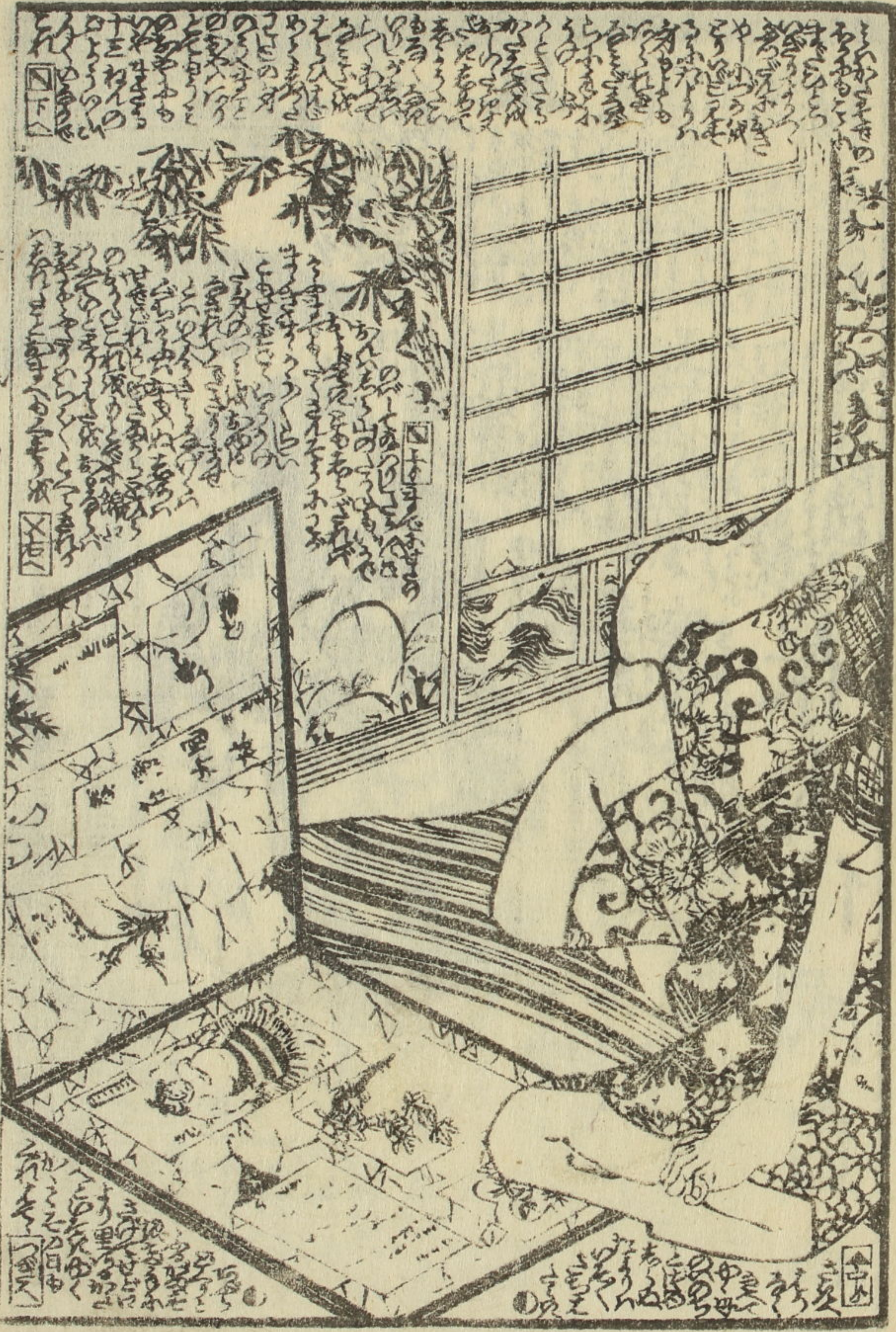


寺
ド
刀

九



甲
代
夜



寺
七
刀



此曲者のこと
後のものがたり
わくわく

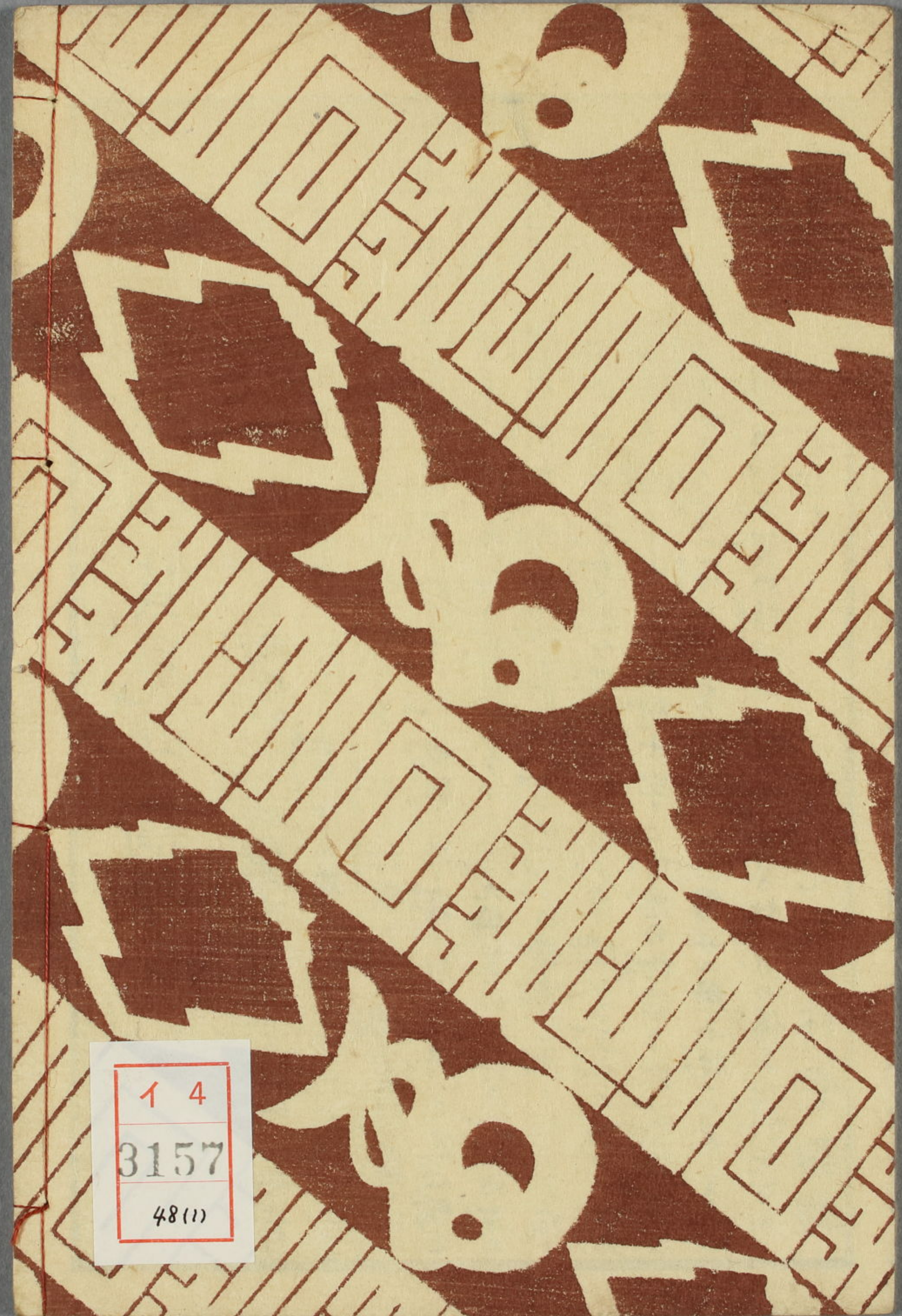


春水作國貞画

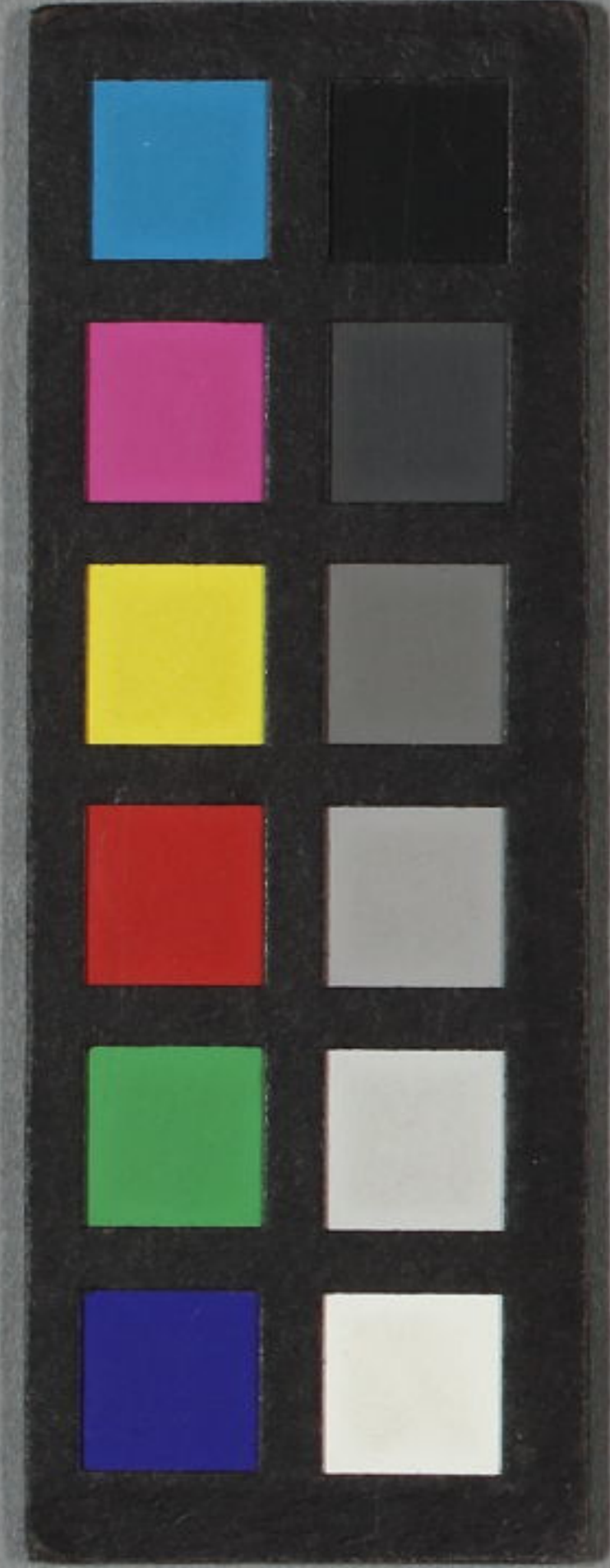
北雪時代加賀見腹稿豫言 春水作 國貞画

十七編因果坊戒念が計つて定ふ入るの一段續のく宝塔建立ゆりて朝日の跡院を安置す
 すよう尾上之助が无失の災難爰ふいよく春辰が草履をりて面を打のかりむを
 貫目とす 十八編の前輯ふ漏る緯と綴りおしく姑く話説大和と轉して彼荒地の遺子
 英壽丸と喚るや変生女子の形容とれり十六夜と假號しは竊み躬方を擔はん心願と
 稱つ攝待旅籠とあるを此一段爰ふ種々の可笑あり 十九編のその扱待ふ泊り候需め
 一老弱男女の器量を試と此段殊ふ巧まば豫胃中の機密を泄しがてな
 へふ言の借 二十編のいづれ大和の段を編果く屢噂とあり閣る正香丹四郎が武名
 の傳記峰沢が花作と変名しその妻阿十字と好悪の物語り那无上大等が
 うふ及びひく又一入の見所あり這の復長譚あるをりて 廿一編 廿二編小説の海と夏もあ
 りねん軟介し後ふ再び多賀の話説ふりり雪若が智勇の傳あど引続まき
 在覽ふ入るべしと謹む白と

板元 若林堂



1 4
3157
48(1)



北雪

美談

時代加賀見物編

為永春水作

一壽齋國真画

嘉永

丙子

春月

目録

若林堂梓





14
3157
48(11)





初編下

司馬
若林半季撰



四三



國真画

曹永能

北雲美候

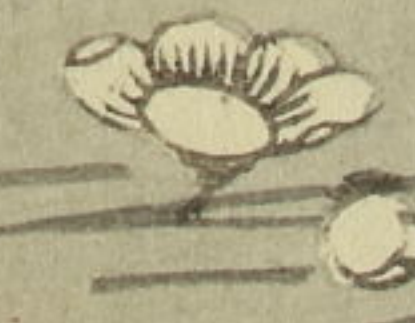
時代加

初編

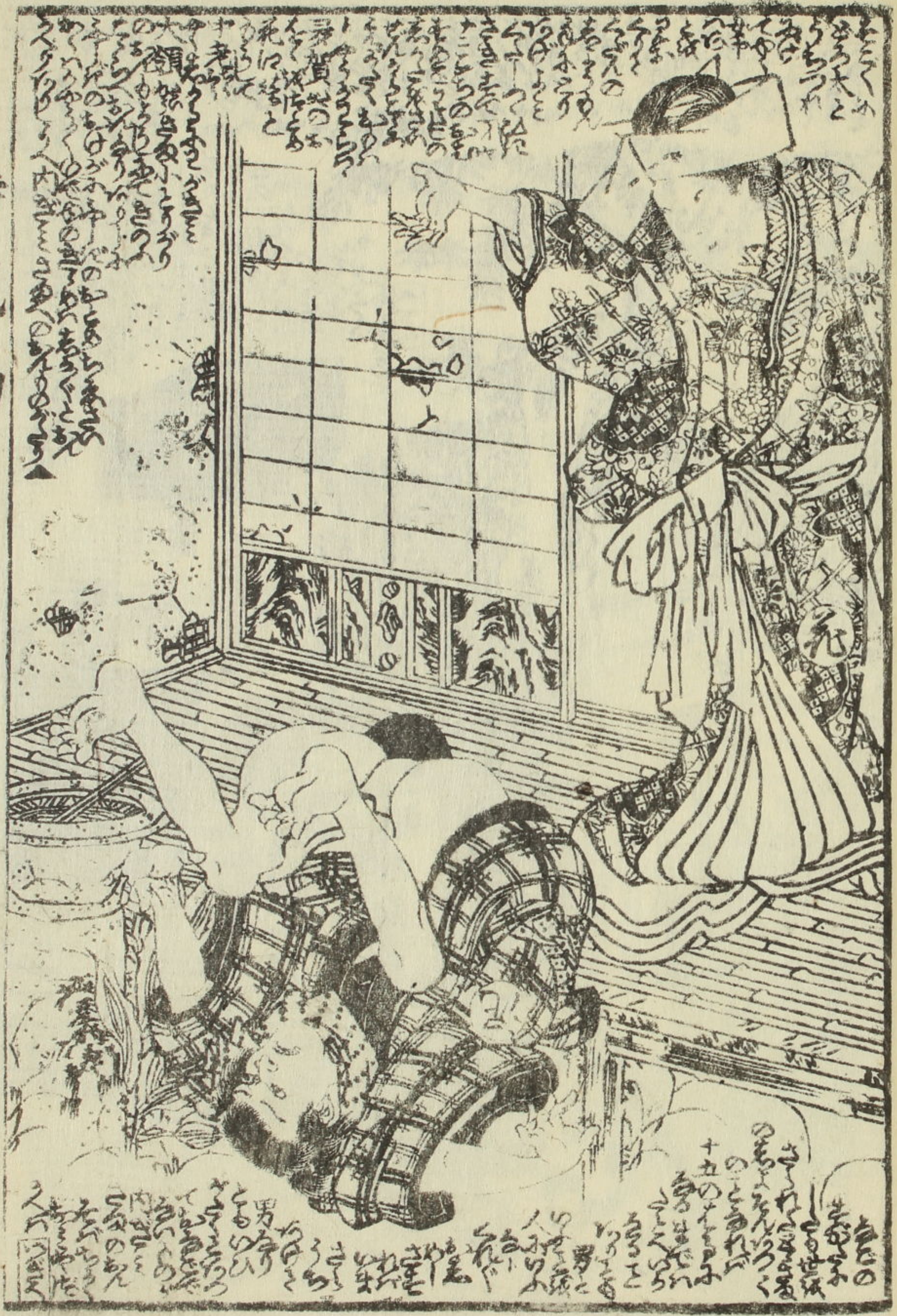
下

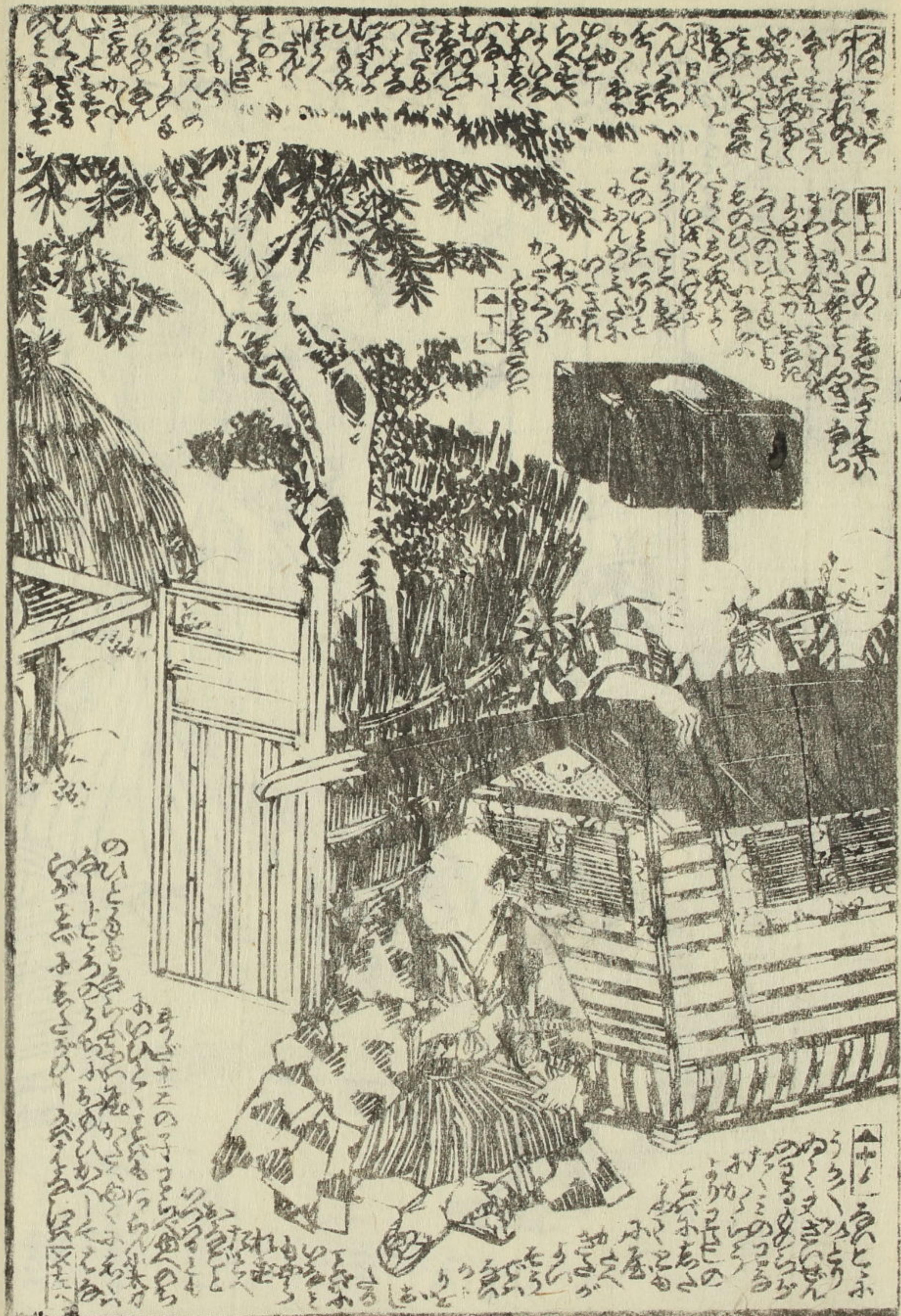
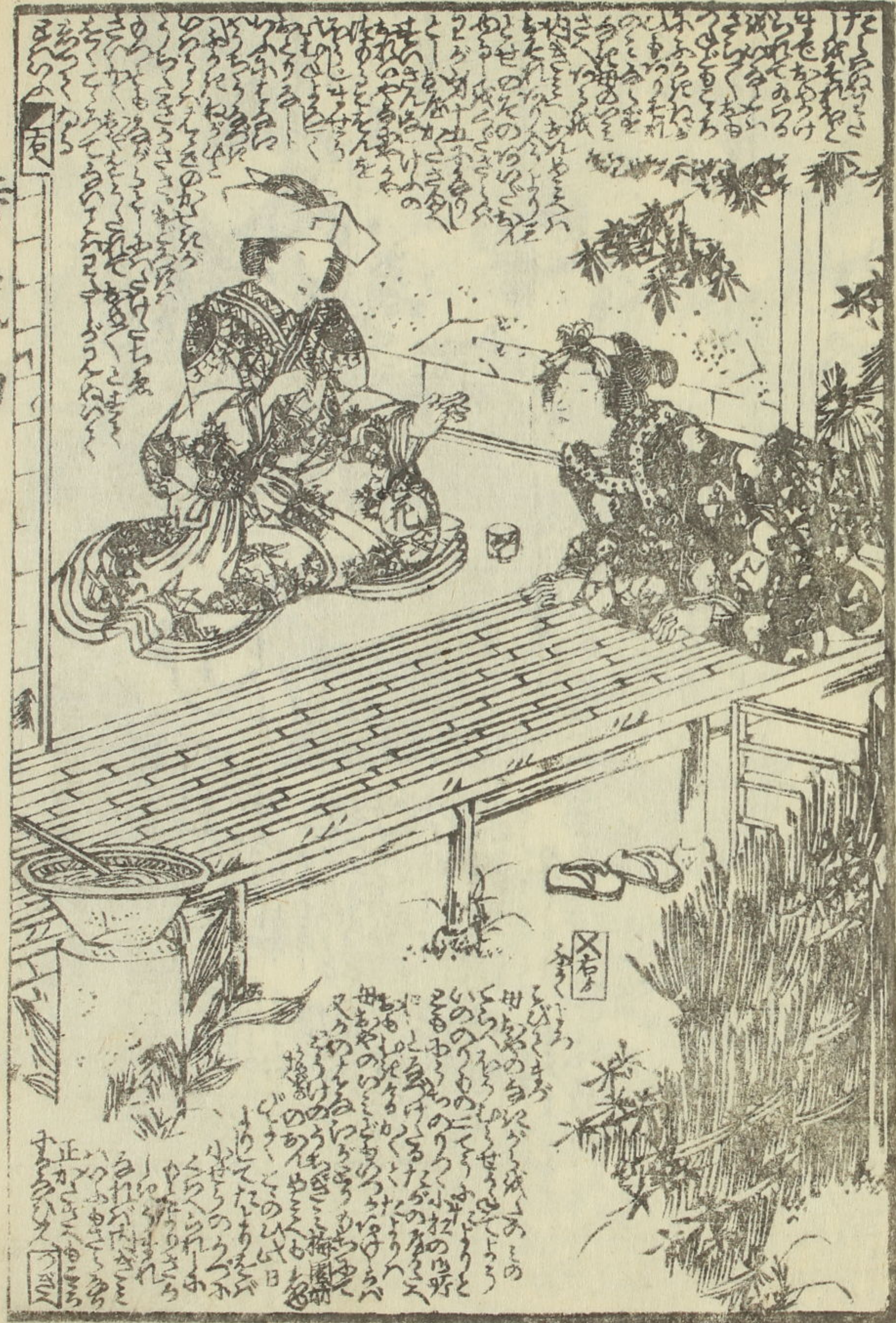
日

梅















甲代

七

。おきぬあそび
おきぬあそび

五三三見立双六

豊岡両面

右の三つあそび

光舟作

天竺人長久双六

応賀作

水滸傳豪傑双六

岡芳画

水滸道排諧双六

度重画

右の介れおし様

おし様双六

勝刺きおし様

かくおし様

おし様



おきぬあそび
おきぬあそび

おきぬあそび
おきぬあそび

五三三見立

双六おし様

大津新おし様

大百のおし様

おし様

おし様

おし様

おし様

おし様

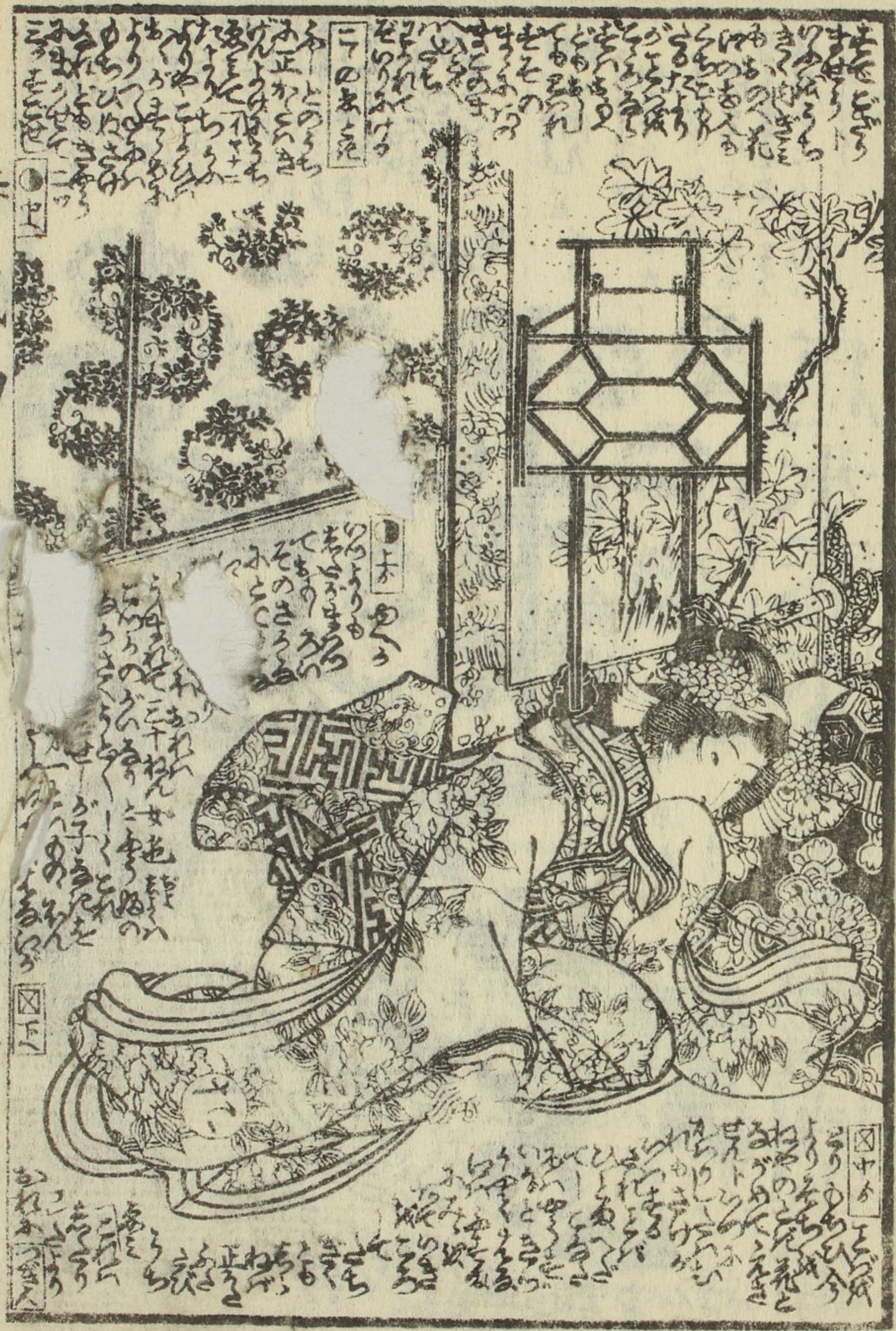
おし様

おし様



おきぬあそび
おきぬあそび

おきぬあそび
おきぬあそび



安政六年己未新春新板目錄

北雪時代加賀見

十五編より二十編まで出版

為永春水作
一壽齋國貞画

雑談兩夜質庫

四編より六編まで出版

為永春水作
一陽齋豐國画
一曜齋國郷画

庭訓武藏證

六編
兼款川國貞画

新進物色より玉巻の巻紙入札入札の
入札出札巻紙同何卒いふ少くは所用向存希上云

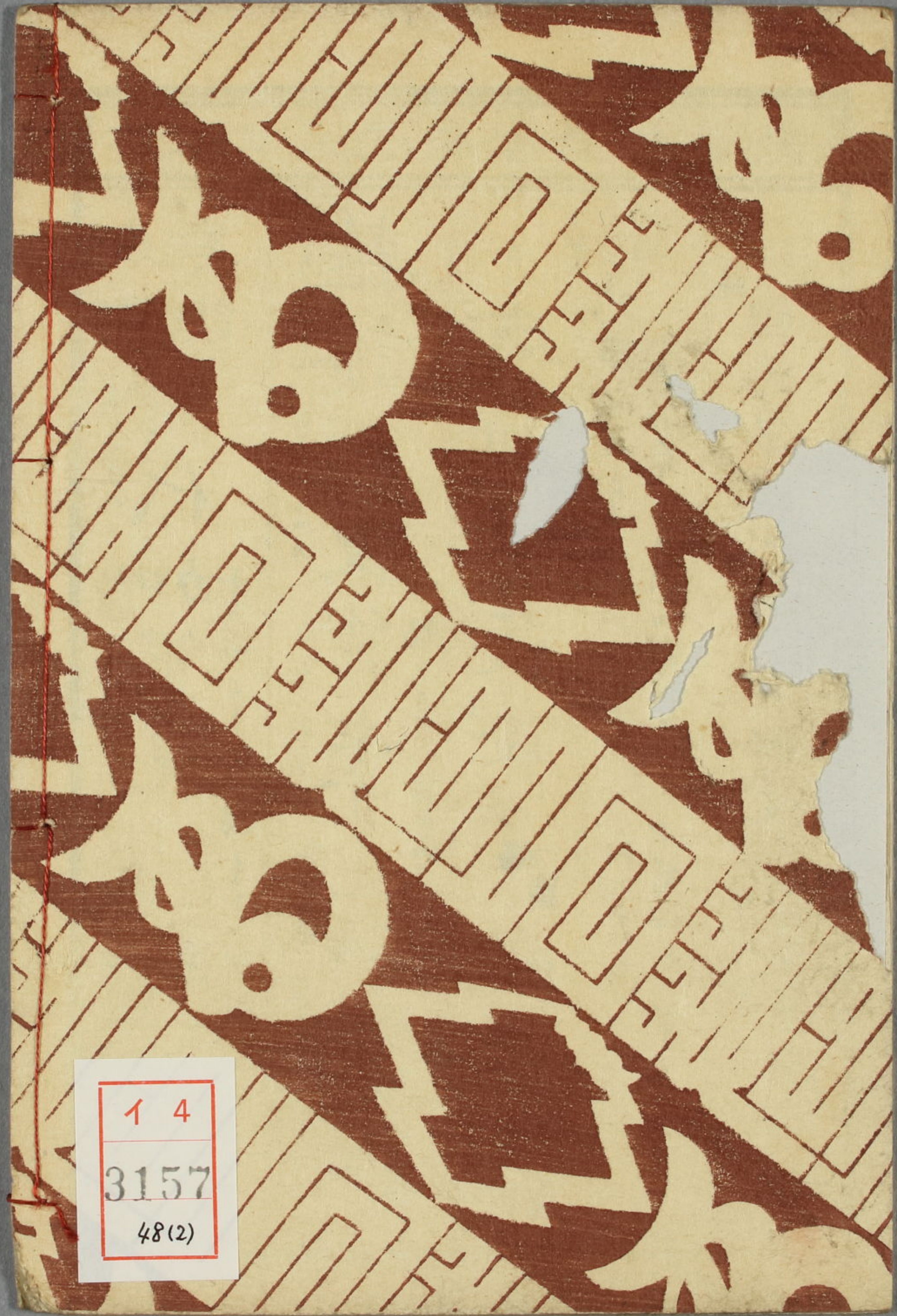
地
錦繪草紙司屋
本
若狭屋與市



為永春水作
一壽齋國貞画



時代



1 4
3157
48(2)